

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2018年度 第1号

所長あいさつ

新たに着任しました鍵谷（かぎや）と申します。私は高冷地農業試験場時代の昭和61年から延べ20年以上研究業務をさせていただいています。今回は所長という立場となりましたが、今までどおり地域の皆様の役に立つ試験研究機関になるよう、技術開発と技術支援を春の定期異動で着任した新職員とともに職員一同頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

また中津川支所はリニア新幹線車両基地建設の関係で、平成30年3月29日に中津川市福岡に移転しました。これからもよろしくお願いいたします。

当誌は年間4回の発行を予定し、すぐに役立つ技術として現場への普及に移した研究結果を中心に紹介してまいります。ご期待ください。

● 新中津川支所で研究スタート！

新中津川支所は、平成27年9月の土地造成工事着工から約2年半の歳月をかけ、本年3月に中津川市福岡へ移転、開所しました。開所にあたっては、JR東海名古屋建設部長をはじめ、県議会議員や、農業関係団体の皆様など、多数の方々にご臨席賜り開所式を開催できましたことを心より感謝申し上げます。

新支所における研究は、東濃地域の主要品目である夏秋トマトや夏秋ナス、クリ、シクラメンなどに重点をおき、生産性向上につながる革新的な栽培技術やブランド力向上につながる新品種育成に取り組みます。また、作業棟内に整備した「農業技術研修室」や研究ほ場の一部を活用し、関係機関と連携しながら担い手育成支援にも努めていきます。



<施設概要>

- ・総事業費 約15億円
- ・建物
事務棟、作業棟など
6棟、1,856㎡
- ・研究ほ場
野菜・花きハウス
12棟、1,772㎡
クリ園 12,370㎡
転換畑(水田) 1,070㎡

イチイの記念植樹



開所式 テープカット



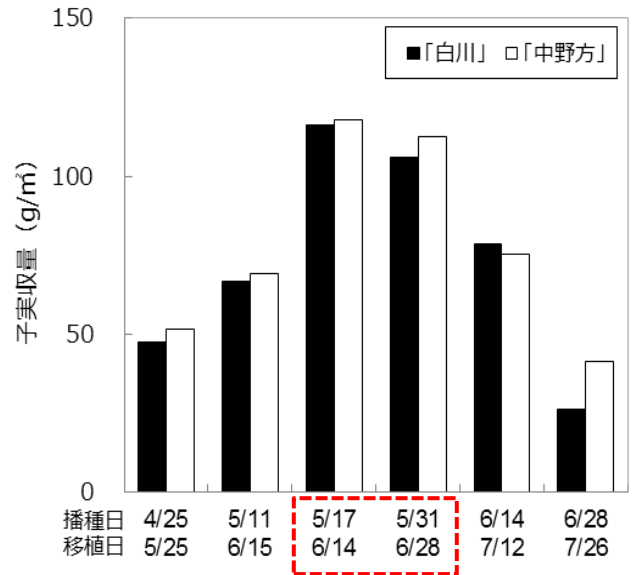
● 東濃地域のエゴマ特性と最適な作期を調査

東濃地域では、古くからエゴマが栽培されてきました。しかし、伝統的な品種系統や栽培技術は継承されていません。そこで、東濃地域で栽培されているエゴマ2系統（白川町栽培種、中野方栽培種）の生育特性と作期の検討を行いました。その結果、両系統の収量や油脂含有量は他の品種と比べても同等なことがわかりました。また、作期は5月中下旬播種、6月中下旬移植で、子実収量が最も多くなることが明らかとなりました。

品種系統	育成地 栽培地	形質	開花初見 (H28)	成熟期 (H28)
白川	加茂郡 白川町	飛騨系 黒種	9月15日	10月17日
中野方	恵那市 中野方町	福島県 在来 白種	9月7日	10月6~8日



左：「白川」黒種 右：「中野方」白種



【支所作物担当 服部哲也】

● 人事異動（平成30年4月1日付）

転入者	新所属	旧所属	転出者	転出先
鍵谷俊樹	所長	支所長	米山誠一	病虫害防除所
神尾真司	支所長	農政課	鍵谷俊樹	本所
安江隆浩	本所専門研究員	飛騨県事務所	水野文敬	飛騨農林事務所
西村 歩	本所研究員	可茂農林事務所	田中良憲	飛騨県事務所
森下 学	本所係長	飛騨高山高等学校	坂垣内徹	飛騨古城特別支援学校
山本伸司	支所主査	東部広域水道事務所	牧野久智	恵那農業高等学校
			進藤晴紀	飛騨県事務所



©岐阜県

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2丁目6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751

中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市福岡1821-175
TEL: 0573-72-2711 FAX: 0573-72-3910

<http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>